

HULFT

C A S E S T U D Y

HULFT

成田国際空港株式会社

高い安定性と運用の容易さを評価し
成田国際空港の管理業務を支える
システム連携機能としてHULFTを導入



↓
Gate B1
Departures



Narita
New York

DEPARTURES

高い安定性と運用の容易さを評価し 成田国際空港の管理業務を支える システム連携機能としてHULFTを導入

成田国際空港株式会社は2004年4月の民営化に伴い、システムのオープン化を推進。多様化したシステム間の連携ツールとして導入したのがHULFTである。複数の選択肢の中からHULFTを選んだ理由は、マルチプラットフォーム対応であること。またツールとしての安定性・信頼性、運用管理の容易さを評価した結果だという。シームレスなシステム間連携を実現するHULFTは、同社のシステムの中で重要な一翼を担っている。



成田国際空港株式会社
業務推進部門
IT推進室 室長

井上 猛氏



成田国際空港株式会社
業務推進部門
IT推進室
情報運用グループ マネージャー

平山 康弘氏

User Profile

成田国際空港株式会社

本社
千葉県成田市成田国際空港内
(成田市古込字古込1-1)

営業開始
2004年4月1日

資本金
1000億円

事業内容
航空輸送における利用者の利便性向上を図るため、成田国際空港の設備・航空保安施設の設置および管理などを展開。空港の運営・管理の面から、国際拠点空港である成田国際空港のさらなる進化に貢献している。

日本を代表する空の玄関口として、主に首都圏の国際航空ニーズに対応した国際拠点空港として進化を続ける成田国際空港。B滑走路(第2滑走路)の2500m化延伸工事も完了し、2009年10月22日から供用が開始された。B滑走路2500m化で、長距離便やB747型などの大型機の離着陸も可能になり、2010年3月(予定)には、4000mのA滑走路(第1滑走路)と併せて発着回数は年間20万回から22万回へと大きく拡大する。

また2010年度には都心と成田国際空港を最短36分で結ぶ成田新高速鉄道線の完成も予定されている。実現すれば都心からの空港アクセスが大幅に向上し、成田国際空港がより身近で利用しやすくなるだろう。

民営化に伴いオープン化を加速 システム間連携が大きな課題に

このようにダイナミックに進化する成田国際空港の運営・管理を担っているのが、2004年4月に新東京国際空港公団から民営化された成田国際空港株式会社(以下、NAA)である。

NAAでは民営化により民間企業に準じた会計基準が必要になることから、民営化に先立つ2003年3月にSAP R/3をベースにした財務会計システムの導入を決定。システムのオープン化に向けて大きく舵を切った。滑走路の延伸に伴う発着回数の拡大に対応したシステムの増強、株式上場をにらんだコスト削減を図るにはオープン化が欠かせないと判断したためだ。「システムのオープン化とともにメインフレームをはじめとする従来システムとのデータ連携が大きな課題となってきました」と業務推進部門IT推進室 室長の井上 猛氏は話す。財務会計システムの導入はオープン化に向けた第一歩。その後もクライアント/サーバー方式をベースにした様々なシステムのオープン化を計画していたからだ。

比較検討の結果、HULFTを導入 実装機能と運用の容易さを評価

その課題に対し、財務会計システムの構築を担当していたベンダーから提案があったのがHULFTである。導入にあたっては、HULFTを含めて複数の方式を

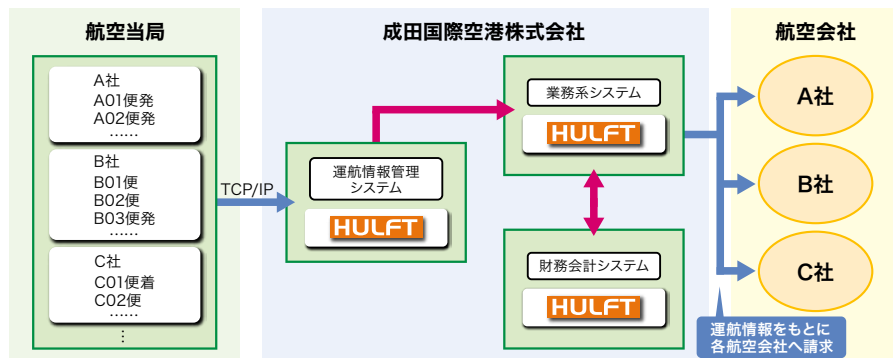


図1 運航情報に基づいた請求業務の処理フロー

航空当局からの情報をもとに多様なシステムが連携し、着陸料、停留料、保安料などを算出。各航空会社へ請求を行っている。その中でHULFTはNAAのシステム間連携機能として、安全・確実なファイル転送処理を実現している。

比較検討した。しかし、メインフレームで運用実績のあるファイル転送ツールはサーバーとの連携にインテグレーションが必要になり、構築と運用に手間がかかるものだった。またコストメリットを重視した方式はメインフレームとの連携機能がない上、ファイル転送時の送信確認ができないなど要件を満たすものではなかったという。※1 比較検討結果についてはお問合せください。

「それに対し、HULFTは送信完了確認ができ、送信側で障害発生も検出可能。さらにマルチプラットフォームに対応し、EBCDIC/ASCIIコードのデータ変換機能も備えています。インテグレーションも不要で、運用も容易。これまでNAAでの運用実績はなかったものの、機能やメリットを総合的に評価した結果、HULFTの導入を決定しました」と井上氏は選定の理由を述べる。

現在、NAA全体のシステムは約70台のサーバーで構成され、運航情報管理、業務系、財務会計などのオープンシステムが相互連携して成り立っている。「例えば、運航情報管理システムから上がってきた1日500便以上の航空機離着陸情報をもとに業務系システムや財務会計システムが連携し、着陸料、停留料(航空機

の駐機料金)、旅客保安サービス料、旅客サービス施設使用料などを算出した上でおよそ90社の航空会社へ請求を行っています」と業務推進部門 IT推進室 情報運用グループ マネージャーの平山 康弘氏は説明する。それらのシステム間連携を図るツールとしてHULFTが利用されているのだ。※2 図1を参照。

**ファイル転送前後の処理を自動化
下位互換性にも大きなメリット**

NAAではHULFTの導入により大きなメリットを実感しているという。その1つが高い運用性だ。HULFTはファイル転送前後の処理(ジョブ)を自動化することが可能。「ファイル転送だけを独立して行うのではなく、転送の前後にジョブを組み込んでおけば、データのコードの変換を行いながら、自動的にファイル転送を行うなど一連の作業を自動化できます。しかも、多様なプラットフォームが混在しているにもかかわらず、データ転送の際に文字化けもないので、セキュアなデータ転送が可能で、安心して運用できます」と井上氏は評価する。

また、HULFTは下位互換が確保されていることも大きなメリットだ。NAAでは

システムのライフサイクルに応じて順次HULFTのバージョンアップを行っているが、下位互換があるのでバージョンアップに伴う不安が払拭されているという。平山氏は「システムを更新する際、実績のある旧バージョンのHULFTで新システムの評価を行い、正常性を確認。その後、最新バージョンのHULFTに置き換えれば、更新の手間を大幅に軽減できます。システム評価の段階で万が一トラブルがあっても、システムを切り戻せば運用を継続できるので、システムの安定性・信頼性の向上にもつながっています」とそのメリットを語る。

運用を継続していたメインフレームのシステムは、段階的なダウンサイズ化を経て2009年6月にその役割を完了した。さらに国土交通省とのデータ交換もTCP/IP化が進んでいる。「そうなれば、多様なシステム間をつなぐHULFTの役割はますます重要になってきます」と期待を込める井上氏。国際拠点空港としてさらなる進化を続ける成田国際空港。その管理運営を担うNAAのシステムの中でHULFTは大きなトラブルもなく確実なファイル転送を実行し、日本を代表する空の玄関口の高度なシステム運用を支えている。なお、HULFTを使用した各システムの連携は、同社のグループ会社でシステムインテグレータとしての役割を持つ空港情報通信(株)(AICS)が代理店として導入構築にあたった。

お問い合わせ

株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎ 0120-80-8620

※利用時間 9:15 ~ 17:45 (土・日・祝日および年末年始を除く)

E-mail : hulft@season.co.jp



- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。
- IBMi、AIX は、米国における米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

[お問合せ先]

株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:15~17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT営業部

〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

関西事業所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勤博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2010年3月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。